

「国際問題 プレゼンテーション・コンテスト」

「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」は、日本の将来を担う大学生などが、国際問題に関するプレゼンテーションを通して、日本の外交政策や国際情勢に対する関心や理解を深め、また、同世代の間との切磋琢磨や交流により国際社会で活躍できる能力を高めることを目的として、外務省が毎年実施している参加型イベントです。

本年度は、経済安全保障への関心が高まりをみせるなか、「我が国の経済安全保障に資する外交政策の在り方について」というテーマで「提言」を募った結果、62組（83名）の学生から応募があり、事前審査を通過した5組（10名）のファイナリストが本選に進みました。冒頭挨拶で、小野外務報道官が参加者を激励し、続いて、各ファイナリストからプレゼンテーションがなされ、さまざまな視点から提言が披露されました。黒崎将広防衛大学校准教授、齋藤孝祐上智大学准教授、土屋貴裕京都先端科学大学准教授により審査が行われ、最終結果は次のとおりとなりました。

<外務大臣賞>

本田義明（慶應義塾大学総合政策学部）／中下璃乃（慶應義塾大学総合政策学部）

<優秀賞>

円光門（東京大学法学部）／森本太郎（東京大学法学部）

<奨励賞>（発表順）

塚原義章（京都大学法学部）／菱門模（京都大学法学部）

福高七海（叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部）／西田真史（東京大学教養学部）

野口夏歩（法政大学法学部）／村田萌華（法政大学法学部）



ファイナリストの皆さんと審査委員

学生向けオンライン事業の開催

2022年2月10日(木)に令和3年度外務省セミナー「学生と語る」、2月26日に第37回「国際問題プレゼンテーション・コンテスト」がオンラインで開催されました。

「学生と語る」

2月10日の外務省セミナー「学生と語る」には、国内各地や海外から多数の学生の参加がありました。上杉謙太郎外務大臣政務官は、冒頭挨拶において、本セミナーが参加者にとって、国際社会における諸課題や日本外交について理解を深め、日本の未来、未来の日本外交のあるべき姿について考える良い機会になることを期待する旨を述べました。その後、「日本の外交政策」についての基調講演、体験談と続き、「安全保障政策」、「ODA政策」、「気候変動外交」、「外交政策における国際法と法の支配」という4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマについて、外務省員の講師によるプレゼンテーションに続き、少人数グループでの参加者同士の活発なディスカッションが行われ、最後に分科会全体の議論をまとめました。参加者からは、「刺激になった」、「勉強になった」といった声が多く寄せられました。

最後の分科会の報告会の講評で小野日子外務報道官から、セミナーを通じて、国際情勢および日本外交に対する理解を深め、外務省での仕事のやりがいや組織の魅力を感じてもらえたのではないかと、日本の将来を担う参加者の皆さんの今後の活躍を大いに期待する、とエールが送られました。



上杉謙太郎外務大臣政務官による冒頭挨拶